

文科省の松尾参事官が資料 19-4(宇宙分野・重点施策)を 7 分余で説明した後、4 分弱の質疑応答があった。(此の重点施策は 3 本の柱で構成され、其の第 3 に「イノベーションエンジンとしての最先端科学・技術力の強化」が示され、その内訳の第 1 に「我が国の自律性確保に必要な基盤技術(輸送系・衛星系など)の獲得・確保」が掲げられている。表題にはイノベーションとか、自律性とか、表現を和らげる言葉使いをしているものの、ロケット推進、衛星バス、センサなどが戦略技術であるとの認識を明確に示し、「弛まない新たな技術開発を継続的に行う」事を謳っており、宇宙活動の目的の根幹を示している点が評価出来る。)

松尾参事官:あの、1 頁につきましては、後で又一寸最後に帰りますので、先ずおめくり頂きまして 2 頁目で御座います。あの、背景説明が冒頭に 2 頁に亙って書いて御座いますが、最初のパラグラフは去年の 12 月の新成長戦略の基本方針と云うのに位置付けられていると云う事。第 2 パラグラフは世界、主にはアメリカの動向について書かれて居ります。3 パラグラフ目ですけれども、世界全体の宇宙利用産業の現状が紹介されております。で、2 頁目の一番下の 4 パラグラフ目、「一方…」の処ですが、我が国の宇宙機器産業、それから宇宙利用産業の現状について書かれて居りますが、3 頁目、次の頁をおめくり頂きまして、此の頁で云う 1 パラグラフ目の一番下の方の、下から 5 行目位から、「今後、…」と会と処がありますけれども、「ニーズを踏まえた技術開発などを通じた我が国の宇宙機器さん産業の国際的な競争

力強化」と、それから同時に「基盤的なシステム・環境の整備などによる宇宙利用産業の更なる拡大」に依って、「我が国やアジアの経済成長に大きく寄与するものと期待されます。」と云う認識が述べられてます。

従ってと云う事で、まあ、最後のパラグラフになる訳なんですけれども、「自在な宇宙利用能力」まあ自律性と呼んでおりますけれども、「を保持し続ける事は元より」エー、一寸跳びますが、「10 年後に宇宙産業規模、宇宙関連産業の規模を現状の倍の 14~5 兆にする事を目指して、」「特に重点的に進める施策を我が国の成長への貢献という視点から取りまとめました。」と云う事で御座います。で、次、4 頁目からその施策の中身で御座いますが、大きく 3 本の柱になって御座います。三本の柱の一つ目が「マーケットの創出・需要の創出」であります。で、其の中身が又二つに分かれておりますが、一つ目が(1)と云う事で、「ユーザー本位で競争力を備えた宇宙開発利用」...で、最初のパラグラフの処に、真ん中辺でしょうか「研究開発の重要性が些かも低下することはない。」けれども、一方、「利用(デマンドサイド)が牽引する施策」によって需要マーケットを作っていくことが重要であると。従って先ずは「宇宙開発推進連絡会議」此れは宇宙基本計画にも位置付けられておりましたけれども、此れを開催して「利用コミュニティの意見の集約を図るとともに、以下の」...まあ、4 つあります。から迄ありますが、「以下の 4 つの施策を推進します。」と云う事です。で、其の以下の 4 つの施策と云うのの一つ目が、「小型

衛星・小型ロケットによる新たな市場の開拓」...それから、次の頁に行って頂きまして、5頁目に が御座います。「衛星・センサのシリーズ化」それから が「リアルタイムの地球観測衛星網の構築」...次の頁に参りまして が「データ利用促進プラットフォームの構築」と云う4つの企画が位置付けられております。利用促進プラットフォームの中にはデータポリシについて検討すると云う事も入って居ります。

それから7頁目、三つの大きな柱の一つ目の二つ目の内容のもので御座いますが、(2)と云う事で、「環境整備」として、「宇宙活動法制」所謂宇宙活動法の整備を進めると云う事と、 のところに書いて御座いますが、PPP や産業投資、低利融資などの枠組みの活用と云う事が書かれて居ります。それから8頁目で御座いますが、大きな三つの柱の内の二つ目の柱ですが、「我が国の宇宙利用の海外展開」と云う事で、先ず「(1)宇宙外交」となって御座いますが、其処の1パラグラフ目、「我が国の宇宙分野の技術・成果や人材は外交資源であり、ソフトパワーの源泉である。」と云う認識が書かれて居ります。で、次に、今議論をして頂いております「国際宇宙ステーション」の事が書かれて居りますが、当にその「現在、その運用期間の延長について検討が進められているが、」まあ延長前の2015年迄についても、「新薬開発などに本格的に活用するだけでなく、」「アジア唯一の参加国である。」...で「実験機会も有している」ので、その機会も「外交資源であるとの認識の下、活用を図る事が重要である。」と云う認識が述べられております。それから(2)

...大きな柱の二つ目「宇宙利用の海外展開」の二つ目の内容が「宇宙システムのパッケージによる海外展開の推進」であります。で、此れが9頁目まで書かれておりまして、次に10頁目で御座いますが、最後三つ目の最後の柱で御座いますのが「イノベーションエンジンとしての最先端科学技術力の強化」であります。で、此処も幾つかにパートが分かれておりますが、先ず一つ目が「自律性確保に必要な基盤技術の獲得・確保」と云う事で、少し掻い摘んでご紹介しますと、「宇宙活動に係る自律性を保持し続けることが必要不可欠である。」と。具体的には輸送系、衛星のバス、センサなどが該当します。で、此れ等につきまして、「長期的な視点に立って、弛まない新たな技術開発を継続的に行って」「ロケットや衛星に係る総合的な技術力を継続的に発展・向上させて行く事は必要不可欠である。」と云う認識が述べられております。それから(2)が、此れはあの「グリーンイノベーションへの貢献」と云う事で、当に地球観測衛星網の話で御座います。で、11頁目、最後の頁で御座いますが、3番目、三つ目の大きな柱の3番目ですけれども、「月・惑星探査や宇宙天文などの宇宙科学技術」と云う事で、此れ等につきましては新たなフロンティア分野として、「最先端科学技術の基盤の強化につながるもの」であって、また、「子供たちに活力ある未来への夢や希望を与え、」「人材の養成とともに、」「国際的なプレゼンスの確立に寄与する将来に向けた投資たり得るものである。」と云う認識が述べられております。で、従いまして、「引き続き、我が国

の強みを活かした宇宙科学・技術を推進する。」と云う事で、一寸跳びますが、「HTV を活用した再突入技術の実証など」「我が国独自の有人宇宙活動に繋がる技術基盤の構築を目指し」、「研究開発を戦略的に進めて行くことが重要である。」と云う事も此处で述べられております。

で、異常が大体内容なんです、1頁目にお戻り頂きます、今の様なポイントの内容とともに、委頁目の下のところに書いて御座いますが、「本決定を受け、」「宇宙基本計画の見直しに係る検討を宇宙開発戦略本部として進めることとする。」と云う方針が決められております。これにしまして、川端大臣、文科大臣が昨日の記者会見で、考え方を述べておられます、方針を示しておられますが、先ず今回の決定にしまして文科省の立場としては、確りと研究開発面、分担する研究開発面で貢献をして行きますヨと云う事と共に、今あの、宇宙開発委員会でやって頂いてる宇宙ステーションの議論、それから探査の議論と云うのが別に御座いますが、そう云った事も含めて、宇宙開発戦略本部で骨太に大局的に議論をして行きたいと云う事を本部で私は、「私」は大臣で御座いますが、申し上げました。従って、そう云う事をやってきたいと云う方針を、記者会見で述べて居られると云う事を併せてご紹介します。以上で御座います。

池上委員長:はい有難う御座いました。ご質問等如何で御座いしょうか。...はい、どうぞ。

青江:あの、一寸まあ、どう言うんですかネエ、あの一、確認とでも

言いましょうかですネエ、あの一、ホントに言いますが、此のペーパー自身はあの一、基本計画ですネ、本部で作られた基本計画と一体となって、この一、推進部会等で議論する際に於いて、準拠すべき物差しになると云う性格のもんなんですヨネ、これは。

松尾参事官:はい、あの一、宇宙開発戦略本部の決定で御座いますので、当然そうだと思います。

青江:そうですネ。ですからそう云う意味からしまして、その一、此处に書いてある事を正確に理解する事、此れが多分、大変重要な事なんだと思うんですネ。其の意味に於きまして、一寸確認とでも言いましょうかネ、知っておきたい事が一点ありましてネ。其れが、今度の此のペーパーに於きましては従来に比べてうんと、まあより明確になって云いますかナァ、まあ自律性の確保・保持と云う事につきまして、まあ、其れを重視するんだと云う考えを打ち出されて居る様に伺われるんですネエ。で、まあ、此の自律性の確保・保持と云う事の支えるものとして、優れた技術、其の中でもとりわけ輸送系に係る技術、こう云ったものが大事だと云う、そう云う考えが非常に強く、まあ、従来に比べても運と強く出て居る。のかナァと。云う風に。ですから、其の辺の考え方と云うものは今後の推進部会の議論に於きましても、当然踏まえて行く。議論しなきゃいかんのだろうなあと云う風に思っておりますが、そんな認識で、宜しいでしょうかネエと。

松尾参事官:はい、あの、ご指摘の通りだと思います。従来に増して、自律性の確保と云うものについて強調されてる事だと

理解してます。

青江:はい。

(暫く無言)

池上委員長:全体を通じて、戦略本部の決定事項ですから。国として斯う云う事をやりたいと。我々としては...あの一...報告を受けたと云う事で、エー、あの一、ま、今後どうするかって事について、勿論これを参考にしながらですネ、進めて行きたいと思って居ります。で、特に宇宙ステーションについては、今、特別部会で色々進めておりましてですネ、その一...で、特に次回、6月3日はですネエ、あの、三菱重工の大宮社長、それから IHI の釜社長、それから千代田プラントの前の社長の関さんに来て頂いて、色々産業界人の ISS についてのご意見を聞きたいと云う風に思って居ります。で、そう云う中で、エー、今回はあの一、新産業成長戦略を受けて、こう云う様なレポートが出たと云う様に理解してますけれども、あの一、今回の此のレポートを横に置きながらですネ、産業界の経営者としてのご意見と云うのを伺いたいと思って居りますんで、色々また議論を頂きたいと思います。...宜しゅう御座いますでしょうか？